

令和3年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－

ワークショップ実施計画書

制作団体名	公益財団法人 名古屋フィルハーモニー交響楽団
公演団体名	名古屋フィルハーモニー交響楽団

内容	
＜小学生プログラム＞	
1. 派遣メンバーの自己紹介とミニ・コンサート、オーケストラ講座	(20')
・1人1人の独奏→全員合奏 ・オーケストラで使われている楽器の特徴、歴史、成り立ちについての説明 ・オーケストラを構成する弦楽器、木管楽器、金管楽器、打楽器セクションごとに、「名フィルのなかまたち」の図を用いて説明	
2. 共演曲の指導（合唱，その他）	(5')
・学校ごとの希望曲を、ピアノ伴奏などにあわせて練習する ※ピアノ伴奏の手伝いを学校の先生に依頼する可能性あり	
3. 《フレンチ・カンカン》のボディ・パーカッション指導	(15')
・実演（または音源）と一緒に、身体を動かして本公演の練習を行う	
4. オーケストラ・プレイヤーへの質問等	(5')
・学校からの希望に応じて実施	
★ワークショップと同時進行で、同行スタッフは担当の先生と打合せを実施	
＜中学生プログラム（ボディ・パーカッション選択）＞	
1. 派遣メンバーの自己紹介とミニ・コンサート、オーケストラ講座	(20')
・1人1人の独奏→全員合奏 ・オーケストラで使われている楽器の特徴、歴史、成り立ちについての説明 ・オーケストラを構成する弦楽器、木管楽器、金管楽器、打楽器セクションごとに、「名フィルを構成する楽器たち」の図を用いて説明	
2. 共演曲の指導（合唱，その他）	(5')
・学校ごとの希望曲を、ピアノ伴奏などにあわせて練習する ※ピアノ伴奏の手伝いを学校の先生に依頼する可能性あり	
3. 《ハンガリー舞曲第5番》のボディ・パーカッション指導	(15')
・実演（または音源）と一緒に、身体を動かして本公演の練習を行う	
4. オーケストラ・プレイヤーへの質問コーナー等	(5')
・学校への希望に応じて実施	
★ワークショップと同時進行で、同行スタッフは担当の先生と打合せを実施	

＜中学生プログラム（吹奏楽共演選択）…全校生徒で 45 分、吹奏楽部で 45 分を実施＞	
1. 派遣メンバーの自己紹介とミニ・コンサート、オーケストラ講座	(25')
・ 1 人 1 人の独奏→全員合奏 (各楽器の特徴が味わえるよう、聴き応えを意識した楽器紹介曲を演奏) ・ オーケストラで使われている楽器の特徴、歴史、成り立ちについての説明 ・ オーケストラを構成する弦楽器、木管楽器、金管楽器、打楽器セクションごとに、「名フィルを構成する楽器たち」の図を用いて説明	
2. 本公演のプログラムについて説明	(10')
・ 特に一番メインのプログラムについては、音源を使って聴きどころなど、注目、必聴ポイントを説明する	
3. 共演曲の指導(合唱, その他)	(5')
・ 学校ごとの希望曲を、ピアノ伴奏などにあわせて練習する ※ピアノ伴奏の手伝いを学校の先生に依頼する可能性あり	
4. オーケストラ・プレイヤーへの質問コーナー等	(5')
・ 学校への希望に応じて実施	
—————以上は学校生徒が対象……以下は該当の生徒のみ—————	
5. 共演曲の指導(吹奏楽)	(45')
・ 対象者(吹奏楽部等)のみ会場に残ってもらい、本公演でオーケストラと合わせるポイント等を説明	
★ワークショップと同時進行で、同行スタッフは担当の先生と打合せを実施	
※時間配分は、学校の要望により変動する可能性あり	MC・転換を含む総時間 (90')

タイムスケジュール (9:30 開演の場合)	
09:00～09:30	出演者・スタッフ会場入り → 楽器セッティング・準備
09:30～11:00	ワークショップ(同時進行で本公演に向けての打ち合わせを実施)
11:00～11:30	撤収(午後にもワークショップがある場合は次の学校へ移動)
※状況に応じ変動する可能性があります	

派遣者数			
指揮者：1 名	演奏者：3～4 名	スタッフ 1～2 名	合計：5～7 名

学校における事前指導	
1. ボディ・パーカッション《フレンチ・カンカン》《ハンガリー舞曲第 5 番》の指導	ワークショップまでに振り付けを覚える必要はありません。「音楽を聴いて、身体に染み込ませる」こと、「リズムに乗って、楽しく身体を叩くことができる」ことを目標とし、授業等で指導を行ってください。
2. 共演曲(合唱・吹奏楽等)の指導	合唱に関しては、授業等でぜひお取り扱いいただき、継続的に歌う習慣付けをお願いします。 吹奏楽においては「オーケストラと一緒に演奏する場合、何に気を付けるべきか?」、「吹奏楽には無い弦楽器の響きはどのようなものなのか?」などを話し合い、意識を高めながら通常の部活動を実施してください。 どちらも本公演でオーケストラと一緒に演奏する喜びと楽しみを知ってもらうことが目的であるため、子供たちの個性が活かされるよう、「のびのびと自由な演奏」を意識しながら、ご指導をお願いします。
3. 本公演の予習	本公演で演奏する曲目について、いくつかの音源を用意しています。給食時間や放課後に音源 CD を流すなど、事前にお聴きいただくことでより理解が高まり、本公演時にオーケストラの音楽に素早く馴染めるはずです。

4. その他

事前指導ではありませんが、プロの演奏家たちが学校を訪問する貴重な機会です。日頃の部活・授業における楽器の練習方法や、音楽に関する疑問、音楽室にある楽器のメンテナンスなど、児童・生徒の皆さんのみならず、先生方もこの機会にぜひ質問を投げかけてください。

令和3年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－

本公演実施計画書

制作団体名	公益財団法人 名古屋フィルハーモニー交響楽団
公演団体名	名古屋フィルハーモニー交響楽団

演目	
【豊かな響きを味わおう】	
1. ビゼー：歌劇『カルメン』組曲より「闘牛士」	(3')
【楽器の音色を味わおう】	
2. 楽器紹介コーナー	(15')
【ユーモラスな“音”を味わおう】	
3. アンダーソン：シンコペイテッド・クロック	(3')
【一体感を味わおう①】	
4. 合唱や伝統芸能との共演※共演曲の曲目は、学校のリクエストに応じて決定 例) 翼をくださいなどの合唱曲のほか、地域に伝わる舞踊や民謡など、伝統芸能との共演も可能	(3~4')
【曲の変化を味わおう】	
5. グリーグ：4つのノルウェー舞曲より第2番	(3')
【イメージしながら音楽を味わおう】	
6. チャイコフスキー：バレエ『くるみ割り人形』より「行進曲」 《休憩》	(3') (10')
【日本の音楽を味わおう】	
7. 外山雄三：管弦楽のためのラブソディより「八木節」	(3')
<u>＜小学生対象＞</u> 【一体感を味わおう②ボディ・パーカッション】 8. オッフェンバック：喜歌劇『天国と地獄』序曲より「フレンチ・カンカン」 ※ワークショップを実施しない場合は、少しレクチャーを行ってから開始します。	<u>＜中学生対象＞</u> ※8a,8b どちらか選択 【一体感を味わおう②ボディ・パーカッション】 8a. ブラームス：ハンガリー舞曲第5番 【一体感を味わおう②吹奏楽】 8b. 吹奏楽との共演 ※共演曲の曲目は、学校のリクエストに応じて決定 例) エルガー/威風堂々などクラシックの名曲のほか、吹奏楽曲での共演も可能
【表現を味わおう～指揮者体験～】	
9. ブラームス：ハンガリー舞曲第5番	(12')
【映画音楽を味わおう】	
10. バデルト：映画『パイレーツ・オブ・カリビアン』	(8')
【オーケストラの名曲を味わおう】※選択プログラム	
11a. シベリウス：交響詩『フィンランディア』	(6~9')
11b. ベートーヴェン：交響曲第5番『運命』より第1楽章	
11c. エルガー：行進曲『威風堂々』第1番	
【サプライズ・アンコール！オーケストラと校歌を歌ってみよう】	
12. 青谷良明編曲：各校校歌	(3')
公演時間(休憩・MC 含め約 90 分)	

派遣者数			
指揮者:	1 名	内 訳	弦楽器／10 型(1stVn10-2ndVn8-Va6-Vc5-Cb4)…33 名 管・打楽器／Fl3-Ob2-Cl2-Fg2, Hr4-Tp3-Tb3-Tub1, Perc4, Hp1…25 名
司会者:	1 名		
オーケストラ:	58 名		
スタッフ:	6 名		
合計:	66 名		

タイムスケジュール (13:30 開演の場合)			
09:00～11:00	舞台スタッフ会場入り → 楽器搬入・セッティング	13:30～15:00	公演
10:30～11:30	出演者会場入り	15:00～15:30	出演者撤収
12:00～12:30	ゲネプロ(直前練習)	15:30～16:30	舞台スタッフ会場撤収
12:30～13:30	昼食休憩	※開演時間により変動します	

実施校への協力依頼人員	
・児童・生徒、保護者用の座席(パイプ椅子、ベンチシート等)を使用する場合、また床面保護のためシートによる養生等が必要な場合は、楽器搬入の前に設置をお願いします。 ・プログラム中の《シンコペイテッド・クロック》において、学校の先生 2 名に打楽器奏者として共演していただきますので、ご協力をお願いします(詳細はワークショップ時に説明します・中学校…当日のゲネプロ(直前練習)において、《吹奏楽との共演》で共演する生徒と、顧問の先生に立ち会いをお願いします。	

演目解説	
■ビゼー：歌劇『カルメン』組曲より「闘牛士」 フランスの作曲家、ビゼーの代表作『カルメン』の中から、華々しく奏でられ演奏会の幕開けにふさわしい「闘牛士」でスタートです！ どこかで聴いたことのある音楽は児童・生徒の皆さんをオーケストラの世界へ一気に惹きつけます。	
■楽器紹介コーナー オーケストラを構成する各楽器を、弦楽器→木管楽器→金管楽器→打楽器の順番で紹介しします。それぞれの楽器と奏者の個性、そして特徴がよく分かるメロディに、どうぞご期待ください。	
■アンダーソン：シンコペイテッド・クロック 多くの親しみやすくユーモア溢れる曲を生み出したアンダーソンの作品から、「壊れた時計」というタイトルでも知られている楽曲を演奏します。今回は代表の先生に、“チク・タク”とリズムを刻む時計の針と、“リリリン”と鳴るベルを演奏していただきます！	
■合唱や伝統芸能との共演 どの学校でも、音楽の授業をはじめ様々なシーンで合唱曲が歌われています。そんな愛唱されている合唱曲を、ピアノ伴奏ではなく、豪華オーケストラ伴奏と一緒に歌いましょう。地域に伝わる舞踊や民謡との共演も可能です！	
■グリーグ：4つのノルウェー舞曲より第2番 元はピアノ連弾のために作曲されたものですが、グリーグ自身が各楽器の特徴を活かした色鮮やかなオーケストラ版に編曲しました。なじみやすい旋律と中間部で劇的に変化する曲想に注目です！	
■チャイコフスキー：バレエ『くるみ割り人形』より「行進曲」 チャイコフスキーの三大バレエ音楽のひとつ『くるみ割り人形』はクリスマスの夜の物語。子供たちがクリスマスツリーのまわりで行進をしている様子を表した音楽で、ファンタジックで可愛いおとぎの国へ皆さんをご案内します。	
■外山雄三：管弦楽のためのラプソディより「八木節」 かつて名古屋フィルの音楽監督でもあった外山雄三さんは、2021年に90歳を迎える日本を代表する音楽家です。日本伝統の民謡が次々に登場するこの作品の中から、もっとも心揺さぶられる八木節をお届けします。	

■<小学生対象> オフフェンバック:喜歌劇『天国と地獄』序曲より「フレンチ・カンカン」

オペレッタのために作曲されたものですが、「フレンチ・カンカン」は特に有名なため単独で演奏されるようになりました。運動会でおなじみの音楽にそって、子供たちの身体そのものを楽器とした「ボディ・パーカッション」を実施します。

■<中学生選択><指揮者体験>ブラームス: ハンガリー舞曲第 5 番

ジプシー(ロマ)に伝わる音楽を、全 21 曲の曲集にまとめた大作曲家ブラームス。その中から、小気味良いリズムと変わるテンポで有名な「第 5 番」を用いて、中学生には身体を使ったボディ・パーカッションを、そして小・中学生ともにオーケストラの指揮者体験をしていただきます。

■<中学生選択> 吹奏楽との共演

吹奏楽部で普段から管・打楽器を演奏している生徒にとって、この体育館での演奏会はまた特別な時間となるでしょう。プロの奏者たちと並んで、オーケストラの名曲と一緒に演奏できるチャンスです！

■バデルト:映画『パイレーツ・オブ・カリビアン』

クラシック音楽だけでなく、映画音楽もお楽しみいただきます。勇壮でダイナミックな音楽は、「パイレーツ・オブ・カリビアン」の魅力を存分に引き出します。オーケストラで聴く圧倒的な迫力と臨場感は別格です！

■シベリウス:交響詩『フィンランディア』

フィンランドの国民的作曲家であるシベリウスが、祖国がロシアから解放されることを願い、愛国の祈りを込めた、力強く気高い交響詩です。国家にさえ影響を与えうる音楽が持つ力を、存分に感じていただきます。

■ベートーヴェン: 交響曲第 5 番『運命』より第 1 楽章

「運命はこのように扉を叩く」と伝えられる、“ダ・ダ・ダ・ダーン”のフレーズでおなじみの 1 曲です。たった 4 つの音でできているフレーズが多彩に形を変え、何度も表れ高い緊張感に包まれている楽章です。

■エルガー:行進曲『威風堂々』第 1 番

英国の作曲家エルガーの代表作です。特に有名な中間部のトリオ部分は、「希望と栄光の国」の名で英国第二の国歌としても知られています。卒業式で演奏されることも多く、壮大な作風は演奏会のクライマックスにピッタリです。

■青谷良明編曲: 各校校歌

アンコールに用意しているのは、その学校に通う児童・生徒なら誰もが歌える「校歌」です。前奏を聴いて「おおっ」となることは間違い無し、通常歌っているピアノ伴奏とはひと味もふた味も違う、ゴージャスな管弦楽伴奏版です！

児童生徒の公演への参加方法、公演に参加させるための工夫

1. 全員を対象とした共演

《合唱との共演》・《各校校歌》での合唱、《フレンチ・カンカン》・《ハンガリー舞曲第 5 番》でのボディ・パーカッションは、児童・生徒全員を対象に実施します。全員合唱では普段から歌い慣れている合唱曲や校歌が、オーケストラの伴奏によって劇的に変化する様子を体験し、歌う喜びを体感していただきます。

また《フレンチ・カンカン》・《ハンガリー舞曲第 5 番》では、オーケストラに合わせて身体を叩くことで一体感を感じていただき、音楽の醍醐味であるアンサンブルの楽しさを味わってもらいます。

さらに《シンコペイテッド・クロック》では、では学校の先生に打楽器奏者として共演してもらいます。児童・生徒たちに応援をしてもらうことで、学校全体の連帯感をより強固なものとし、絆を深める一助となれることを期待します。

※合唱との共演は、学校の希望により、地域に伝わる伝統芸能などとの共演も実施いたします。

2. 代表者との共演

《ハンガリー舞曲第 5 番》での指揮者体験は、3 名程度を対象に、当日指揮者・司会者がランダムに選択するか、あるいは学校側の推薦を受けて決定します。

《吹奏楽との共演》では、学校の希望に応じて吹奏楽部とオーケストラが共演します。約 60 名のオーケストラと共演した生徒たちは、夢の実現に等しい体験が可能となるでしょう。

※《吹奏楽との共演》では、ワークショップにおいて事前指導を実施します。

※曲目は普段学校で演奏している楽曲を編曲し、共演します。

いずれの共演企画も、児童・生徒の代表、または児童・生徒自身が実際にオーケストラと一体となって共演することで、オーケストラは決して遠い存在ではなく、身近な存在であることを認識してもらい、オーケストラに、ひいては音楽に、もっと興味を持ってもらうことを目的として実施します。

児童生徒とのふれあい
《吹奏楽との共演》で吹奏楽部と共演する学校であれば、ゲネプロ(直前練習)後の昼食休憩時間に楽員が様々な質問を受け付けるので、気軽に声をかけてください。また「お昼の校内放送」に指揮者等が出演し、本公演への期待を高めるなど、各学校の希望を踏まえて実施します。

令和3年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－

実施計画書

制作団体名	公益財団法人 名古屋フィルハーモニー交響楽団	団体ID
公演団体名	名古屋フィルハーモニー交響楽団	G85

[illegible]

